

rivière vol.49

リビエール
武庫川女子大学通信



2022
SUMMER

Mukogawa Women's University, Mukogawa Women's University Junior College Division



巻頭特集

新しい時代、 進化する武庫女



帰ってきた伝統の体育祭

武庫川女子大学の むこじよTV



3

巻頭特集

新しい時代、 進化する武庫女

「新しい武庫女教育」を目指して

大河原 量 理事長・学院長

「MUKOJO未来教育プログラム SOAR」が始動

女性活躍総合研究所所長 食物栄養科学部学部長 高橋 享子 教授

経営学部 高橋 千枝子 教授

共通教育部 西尾 亜希子 教授

共通教育部 山本 晶子 教授

新しい武庫女に、新しい学び
2023年新学部、新学科誕生



今号の表紙

学生たちが、キャンパスに帰ってきました。学びや研究、クラブや学友会活動に主体的に取り組む姿があらごちらで見られます。

教室毎に設置している消毒液、食堂のパーティーションなどキャンパスの風景は少し変わっても、マスク越しの学生たちの語らいと笑顔に、頼もしさを感じます。

12

武庫川TOPICS

キャンパスの情報をご紹介します!!

16

学生・生徒の活躍

華々しい受賞結果をご報告

17

武庫川就職掲示板

気になる就職活動の“今”を
お伝えするコーナー

18

研究よもやま話

文学部 心理・社会福祉学科 教授

国際センターセンター長 吉富 志津代 先生

19

むこじよTV

武庫女のテレビ放映中
教職学協働で武庫女をアピール

20

New Face

新任教員紹介

22

帰ってきた 伝統の体育祭

3年ぶりの対面再開
熱気あふれるステージに

Editor's note



武庫川女子大学のキービジュアルが新しくなりました。かつてよざとかわいらしさ、スタイリッシュな中にも柔らかさや優しさを持ち合わせた“武庫女らしさ”を、凛とした女性の表情に込めています。

2023年4月、武庫川女子大学は12学部19学科の女子総合大学としてさらに進化します。武庫川学院創立83周年の伝統を継承しつつ、「新しい武庫女教育」にも踏み出しました。これからも知性豊かで伸びやかに、個性を輝かせる女性たちを輩出していきます。

新入生全員が受講したMUKOJO未来教育プログラムSOARでは、「自分の視野を広げていきたい」「女性が輝く社会にしたい」という学生の声がありました。学生たちの挑戦にご注目ください。



巻頭特集

新しい時代、 進化する武庫女

武庫川学院が「高い知性、善美な情操、高雅な徳性を兼ね備えた女性の育成」を立学の精神に掲げて開学したのは1939年のこと。創立80周年を迎えた2019年には、100周年を見据えたビジョン「一生を描ききる女性力を。」に思いを込め、未来指針となる「MUKOJO Vision 2019-2039」を策定しました。プロジェクトの具体化が進む中、武庫川女子大学では、女子総合大学の特色を活かした「MUKOJO未来教育プログラムSOAR」の始動や2023年4月の新学部・新学科開設など、新しい取り組みが続々と始まっています。女性活躍の次のステージへ。時代を超えて進化を続ける武庫女教育の“今”をお届けします。



成長を表現するモニュメント「UNDER THE LEAVES」の前で

「新しい武庫女教育」を目指して

理事長・学院長
大河原 量

武庫川女子大学は2022年度から「新しい武庫女教育」に踏み出しました。長年かけて築いてきた「武庫女教育」を新たな時代に最適なパラダイムにシフトするため、教育、研究、キャリアすべてにわたる前例のない改革を、スピード感をもって実行します。

女子大学はかつて、女子の高等教育に道を拓き、特色ある教育機関でした。しかし、女子の大学進学率が男子と並ぶようになった今、女子大学の特色とは何でしょうか。共学と伍して「選ばれる」ための「新しい特色」を示せているのでしょうか。

本学は資格教育に強みを持ち、時代に即して教員、薬剤師、管理栄養士など専門職の養成で成果をあげてきました。昨今は建築や経営などかつては男性中心だった領域にも学部を開き、欧米型の実践教育を展開しています。企業とコラボレーションしたプロジェクトが多数動いており、学生の発想力、行動力、協働してやり遂げる新しいリーダーシップは各方面から高い評価を受けています。

ただ、長く資格教育に重心があったため、カリキュラムに「遊び」の部分が少なく、出席管理や学外との交流に

厳格すぎるなど反省がありました。安全を気遣うあまり、「閉ざされた場」になっていた面も否めません。変化の速いこれからの時代には、今まで以上に思考力を磨き、自立心を高め、課題を解決する力が求められます。自由度の高いカリキュラム編成や正課外教育の促進など学びの自由と開放が必要です。キャンパスも講義棟や教室だけでなく、オーブンスペースでいつでも集える場がもっとあつていい。学年間の交流や学部学科が横の連携を強めることで、思わぬ相乗効果が生まれるでしょう。女子大学の教育研究の成果を社会に還元し、地域から真に頼られる大学にならなければなりません。

男女雇用機会均等法、女性活躍推進法など法整備が進んできたにもかかわらず、男性中心の社会構造は劇的には変わっていません。「男性らしく、女性らしく」というジェンダーバイアスは根深く、女性管理職の登用の遅れ、男女の賃金格差など課題は山積しています。女性活躍が加速しない要因が社会にあるなら、その要因を取り除いたニュートラルな場で、女性たちが主体的に思考し、実践し、失敗を経験できる教育の機会が、選択肢として有効です。創造的失敗、建設的失敗は将来の財産になります。むしろ、女性の能力を掛け値なしに示

し、女性活躍の為の諸課題について解決策の提言をし、女性全般へのリスペクトを高めて真のパートナーシップに道筋をつけるのは、女子大学の責務だと思います。

18歳人口が減少し、大学間競争はさらに厳しさを増すでしょう。改革は待ったなしです。2023年には、改革を推進する教学戦略企画部門を設置し、2029年の学院創立90周年、2039年の100周年に向けたロードマップに沿って戦略的に改革を進めます。

立学の精神にある「善美な情操」とは文化的な豊かさです。いかに科学が発達し、生産性が高まっても、芸術文化が切り捨てられる社会に未来がないことは明らかです。学生が自由に伸び伸びと学び、自分と向き合い、夢を育み、回り道も楽しみながらポテンシャルを最大限に引き出せる唯一無二の大学。アカデミックな雰囲気に加え、芸術と文化、スポーツにあふれた開放的なキャンパスで、自由闊達に繰り広げられる教育・研究が理想です。「共学より活気があり、面白い環境があるから武庫川女子大学に行く」と、選ばれる大学になるために、「新しい武庫女教育」に全力を挙げて取り組みます。



「MUKOJO未来教育プログラム SOAR」が始動

創立100周年に向けた新しい武庫女教育の一環として、女性活躍総合研究所が主催する「MUKOJO未来教育プログラム SOAR」が2022年度よりスタートしました。今後、各種イベントを開催するほか、2022年度前後期、共通教育の新しい科目として「SOAR 人生100年をきり拓く力」を開講します。これに先立って、新入生を対象にした導入講義を4月に実施しました。講義を行った4人の先生方に授業の内容やプログラムの狙いを聞きました。

SOARとは
(ソアー)

英語で「(鳥や飛行機などが)飛躍する、舞い上がる」「(希望・気分などが)高まる、高揚する」を意味する動詞で、MUKOJO 未来教育プログラムの通称です。



中央キャンパス公江記念講堂で開催された導入講義

導入講義

「ジェンダーとセクシュアリティ」

ジェンダーは男女間の力関係を問題視する中で生まれた言葉で、性差に関する知を意味します。その知も相対的で流動的です。ジェンダーは長らく社会的、文化的な性別を意味すると理解されてきましたが、専門家の間ではポスト構造主義の影響を受けた議論やジェンダーがもっと広い意味で使われている現状を重んじ、ジェンダーをより広く捉えるようになっています。

無意識の偏見をアンコンシャスバイアスと呼びますが、世の中のジェンダー問題は無意識で悪気がないからこそ解決しにくい側面があります。ジェンダー平等な社会をつくるために、学生の皆さんには自分の中のアンコンシャスバイアスやダブルスタンダードに気づき、ジェンダー平等のために何ができるか考えてほしいと伝えました。

セクシュアリティは性に関する諸現象や性のあ

り方を意味する広い概念で、中でも性的指向は恋愛や性愛の対象がどのような性の人に向くかを意味する概念です。セクシュアリティについて学べば、LGBTQ+の人はもちろん、誰もがありのままでいいことに気付くでしょう。

ジェンダーやセクシュアリティの理解について、SOARがその入り口になるといいと思います。専門分野を学ぶ上でも、ジェンダーやセクシュアリティは、新たな視点をもたらしてくれますから。

大学は考える場所です。知識を身に付けることは、人を守り、解放する武器になります。知識を身に付けることで「私は私」と思えるようになればいい。私は私でいいと思うことは、人がやっていないことに挑戦する力にもなります。本学の学生たちが、そんな第一歩を踏み出してくれることを願っています。

私は私。だれもがありのままがいいと知ってください



共通教育部
西尾 亜希子 教授

導入講義

「女性のライフプランと法律」

日本女性の平均寿命は2050年頃には90歳を超えると予測されています。まさに「人生100年時代」。教育・仕事・引退の3ステージから、副業や再教育、転職、起業などが当たり前になるマルチステージへと転換する中で、人生の設計図であるライフプランを考えることがますます重要になってきます。長寿化による人生モデルのない時代をどう生きるか。自分を助けてくれる法律やそれに基づく社会制度を知る力を持つことが大事です。一定の要件を満たせば育児休業が2歳まで延長できることや休業中も育児給付金が支給されることを知っていれば、人生の選択も変わってくるでしょう。

日本では今、女性が心豊かに暮らし、活躍で

きる人生を支援する法律や社会制度が次々と整ってきています。導入講義では、ライフプランを考える必要とともに、自分の生き方を自らが決断することの大切さを伝えました。

共通教育科目の授業では、働く女性を守る法と社会制度について詳しく講義する予定です。大学卒業後に正社員として働き続けた場合と退職してパートで復職した場合は生涯所得に大きな差が生じることも知っておくことが重要です。「未来の私をつくるのは今の私」という言葉の通り学生の皆さんには、将来を見据えながら、今、大学で多くのことを学び、自分らしい一生をしっかりと描いてほしいと願っています。

自分を助けてくれる法律や制度を知る大切さを伝えています



共通教育部
山本 晶子 教授

SOARは社会に目を向けるきっかけになるはずです



女性活躍総合研究所所長
食物栄養科学部学部長
高橋 享子 教授

SOARについて

女性活躍総合研究所では、女性活躍推進、グローバル化推進、ダイバーシティ推進、次世代女性人材育成、女性生涯キャリア支援の5つの分野の調査・研究を通じて、ジェンダーギャップを乗り越えて活躍できる女性の育成と支援に取り組んでいます。SOARはこうした取り組みを教育プログラムに落とし込んだもの。ジェンダー、キャリアデザイン、ライフプランをテーマに、自分自身と向き合い、社会に目を向けるきっかけを提供する新しいプログラムです。

重視するのは、“気づき”を得ること。例えば、アンコンシャスバイアスやダブルスタンダードが何を意味するのか。自分で見て、考えて、気付く場にしてもらいたいと考えています。導入講義の反響は大きく、共通教育科目への履修希望も予想を上回る申し込みがありました。受講できなかった学生のために今年度中に特別教育プログラムを実施するほか、卒業生座談会やフォーラム、ワークショップなどのイベントも計画中です。

人生にはいろいろな波が押し寄せてきますが、自分で未来をきり拓く力があれば、道は必ず拓けます。学生の皆さんが生き生きと学び、自分らしい一生を描ききるために、SOARは大きな力になるはずです。まだ始まったばかりですが、手ごたえは上々。「SOARがあっつよかった、武庫女に来てよかった」と思えるプログラムになることが私たちの目標です。大いに期待してください。

導入講義

「女性の仕事環境とキャリアデザイン」

男女平等格差を数値化した「ジェンダーギャップ指数」で、2021年日本は156か国中120位。先進国で最下位レベルです。特に経済分野と政治分野での順位は低く、企業のリーダーや政治家の割合がとても少ないことがデータに表れています。また、働く女性の約6割弱が非正規雇用で賃金が低いという現状もあります。背景には、性別による職務分離や賃金格差、育児との両立が難しいといった原因がありますが、女性側の潜在意識も課題です。女性だから補助的な仕事でいい、女性にリーダーは無理という思い込みは、今すぐ捨ててほしい。導入講義ではそう呼びかけました。

現在、企業や政府は女性の活躍や家庭との

両立を積極的に進めています。女性には追い風です。一方で、大手金融機関や大手商社では補助的な仕事を行う一般事務職の新卒採用を中止する流れが加速。正社員は男女問わず総合職・専門職のみになり、単純な業務は人間の代わりにロボットやAIが担う時代に突入しました。女性も一生をかけてキャリアを磨いていく必要があります。

自分が主体的に取り組める仕事は何か。しっかりと考え、働き続けてリーダーになるのが当たり前という感覚を持つ必要があります。まずは意識を変えることです。SOARの導入講義、そして共通教育科目の授業が学生の皆さんのキャリアデザインにプラスになればうれしいです。

キャリアデザインは思い込みを捨てることから始まります



経営学部
高橋 千枝子 教授





共通教育科目「SOAR人生100年をきり拓く力」授業計画

MUKOJO未来教育プログラムの基礎編。ジェンダーやセクシュアリティに関する基本的理解を得るとともに、ヘルスケアや法律、社会制度等の知識を多角的に学びます。多彩な専門知識と経験を持つ講師陣の講義から、自身の可能性を知り、自分らしく人生をきり拓いていくためのライフプランやキャリアデザインを考える力を身に付けます。

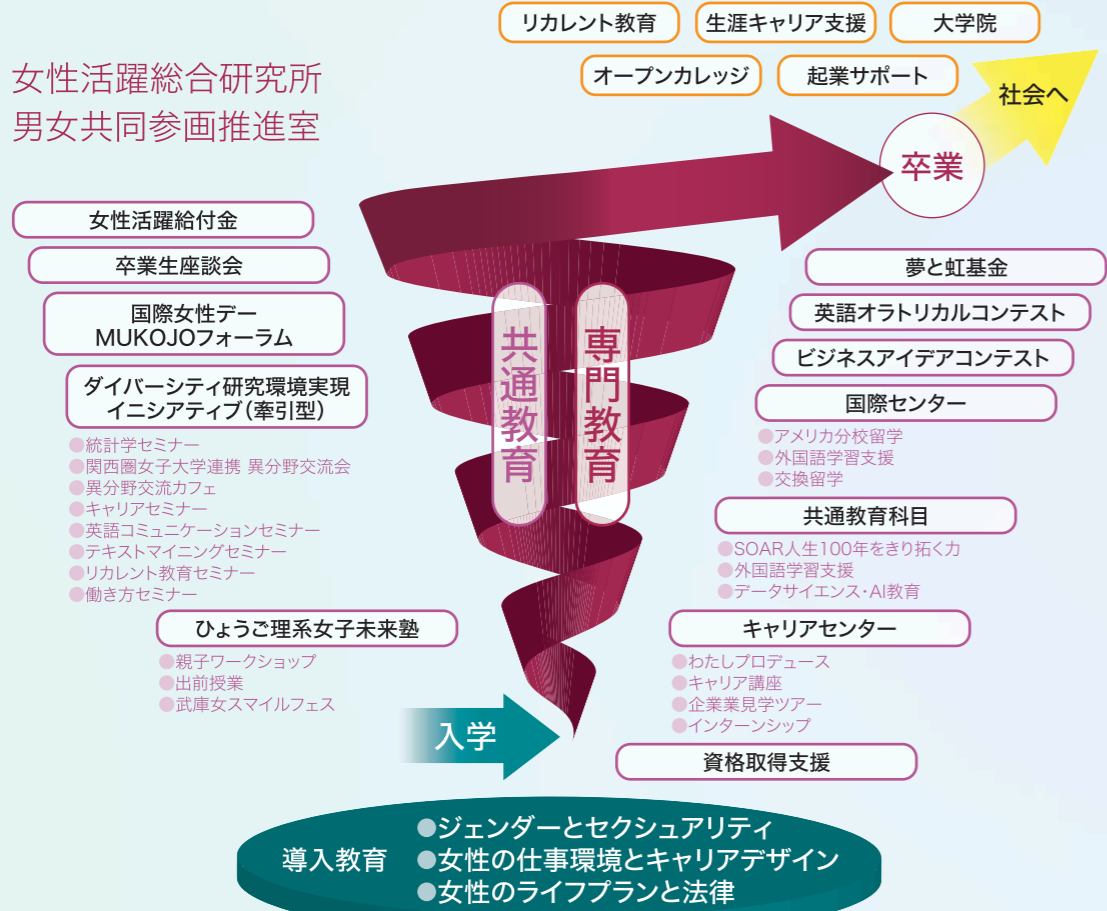
授業回数15回。11人の教員によるオムニバス形式で実施しています。

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 第1回 ガイダンス
SOARの概要・社会環境の変化・授業の進め方等 | 第8回 女性の仕事環境とキャリアデザイン |
| 第2回 ジェンダーに関する基本的理解① | 第9回 外資系企業でのキャリアデザイン |
| 第3回 ジェンダーに関する基本的理解② | 第10回 グローバル社会での活動 |
| 第4回 セクシュアリティに関する基本的理解① | 第11回 女性のためのマーケティング |
| 第5回 セクシュアリティに関する基本的理解② | 第12回 情報革新と社会-AIの進展と可能性 |
| 第6回 女性のためのヘルスケア | 第13回 女性を取り巻く現代社会と法 |
| 第7回 女性のためのライフプランニング | 第14回 働く女性を守る法と社会制度 |
| | 第15回 授業の総まとめ |

SOARの スパイラル教育

本学は教育推進宣言に、主体性・論理性・実行力を持つ女性の育成をうたっています。SOARプログラムは、新入生オリエンテーション時の導入講義による「ジェンダーとセクシュアリティ」「女性の仕事環境とキャリアデザイン」「女性のライフプランと法律」からスタートし、共通教育と専門教育を柱に、女性であることの意味的变化を促す授業やセミナー、イベントなど多様なプログラムを一貫して学ぶ機会を提供し、学生が主体的に自らの意志で学びを深化させることを目指します。

主体性・論理性・実行力のある女性



SOAR 導入講義を終えて

今年度の新入生全員を対象に4月6日・7日に実施した「MUKOJO未来教育プログラム SOAR」の導入講義。高橋享子教授の概要説明から、西尾亜希子教授、高橋千枝子教授、山本晶子教授と続いた合計105分間の講義の後にアンケート調査を行い、1,274人(回答率53.8%)の回答を得ました。大学に入学したばかりの1年生は、それぞれの講義内容について92%~93%が「理解できた」(「よく理解できた」~「理解できた」)と回答していますが、具体的にどのように感じたのでしょうか。講義の感想を尋ねた自由記述欄から学生の声を紹介します。

キャリアやライフプランについて、悩んでいたところだったので、ものすごく安心しました！とても勉強になりました。

育児休暇のことに詳しく知れたことが良かった。

社会が女性のサポートに積極的になっていることが分かり、安心しました。

ジェンダーとセクシュアリティの講義で、自分が知らなかった言葉がたくさんあって、知識の浅さを痛感した。

自分が周りにはいろんな価値観を持った人がいて、否定することなく自分の視野を広げていきたいと思った。

女性が輝く社会にしたいです。

LGBTQ+についてももっと専門的に学んでみたいと感じた。

女性でも活躍できるということを改めて知ることができました。自信を持って、将来の夢をかなえるために頑張りたいと思います。

自分はジェンダーに関する偏見はない方だと思っていたけど、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)が少しあったことに気がつきました。今以上に敏感にならないといけないと思いました。

性に関する固定概念をなくすべきことと、女性の仕事やこれからの人生については、関係ないようでとても関係していることがわかりました。

女性労働者の非正規雇用の割合が思っていたよりも多く、驚きました。私は正規雇用で働きたいので、就職活動を頑張ろうと思いました。

学生の声

SOAR導入講義は、当日参加と事後のYouTubeで約200人の教職員が受講。教職員アンケートの「新入生にとって分かりやすい内容だと思いますか?」の問いには、77.8%が「分かりやすい」~「ちょうど良い」と回答。自由記述では、「全教職員が聞くべき内容」「新入生ガイダンスとして非常に意味がある」「本学の女子教育にこのようなプログラムが導入されたことに感銘を受けた」と多くの方から好評を得、また改善に向けた貴重なコメントも寄せられました。今後、SOARを受講した学生や教職員の皆さまの熱い思いがSOARの教育効果を高め、本学の「新しい武庫女教育」醸成につながればと思います。どうぞご支援をお願いします。

一生を描ききる女性力を。

- 文学部
 - 日本語日本文学科
 - 英語グローバル学科 (2023年4月 英語文化学科から名称変更)
 - 教育学部
 - 教育学科
 - 心理・社会福祉学部 ※
 - 心理学科
 - 社会福祉学科
 - 健康・スポーツ科学部
 - 健康・スポーツ科学科
 - スポーツマネジメント学科 ※
 - 生活環境学部
 - 生活環境学科
 - 社会情報学部 ※
 - 社会情報学科
 - (情報メディア専攻 / 情報サイエンス専攻)
 - 食物栄養科学部
 - 食物栄養学科
 - 食創造科学科
 - 建築学部
 - 建築学科
 - 景観建築学科
 - 音楽学部
 - 演奏学科
 - 応用音楽学科
 - 薬学部
 - 薬学科
 - 健康生命薬科学科
 - 看護学部
 - 看護学科
 - 経営学部
 - 経営学科
 - 短期大学部
 - 日本語文化学科
 - 英語キャリア・コミュニケーション学科
 - 幼児教育学科
 - 食生活学科
 - 生活造形学科
- ※2023年4月開設

12 学部
19 学科
短大
5 学科

2023年4月、大学に心理・社会福祉学部(心理学科、社会福祉学科)、社会情報学部(社会情報学科)、スポーツマネジメント学科(健康・スポーツ科学部)の2学部1学科を開設。文学部英語文化学科は英語グローバル学科に名称を変更します。なお、短期大学部の心理・人間関係学科と健康・スポーツ学科は23年度以降の学生募集を停止し、両学科の教育理念や実績は大学の心理・社会福祉学部と健康・スポーツ科学部へ発展的に継承します。2023年4月、武庫川女子大学は大学12学部19学科、短期大学部5学科へ進化します。全国最大規模の女子総合大学として、より充実した教育環境のもとで次代を担う女性を育成します。

新しい武庫女に、新しい学び 2023年新学部、新学科誕生

武庫川女子大学では来春、2つの学部と1つの学科を新設します。新学部・新学科では、複雑化する社会問題の解決に向けた専門教育を重視。変化の激しい時代に対応した新しい学びを通して、これからの社会に貢献できる女性を育てます。

社会情報学部

社会情報学科

データで社会を照らし、新しい価値を社会実装できる力を備えた人材を育てる

AIやIoT、ロボットなど、デジタル技術が急速に進化する現代。複雑化する社会の課題解決に欠かせないのがデータです。現代社会では、人々のつながりからモノの動きまで、世の中すべてがデータとして記録され、システム開発や新たなサービスに活用されています。社会情報学部では、そんな時代の変革期をリードし、より豊かな未来へ導く人材の育成を目指します。

情報分野の専門知識とスキルを文系理系それぞれのアプローチで学べる専攻を設置するのも大きな特色です。文系の情報メディア専攻、理系の情報サイエンス専攻の2専攻制で、文系でも理系でも挑戦できる情報分野の新しい学びを提供。情報やマルチメディアの知識とスキルを生かし、進化し続ける情報化社会をより豊かに創り上げる確かな力を養成します。



未来のステージ

心理学科では、認定心理士の資格取得や公認心理師養成に対応したカリキュラムを編成。大学院進学も視野に入れ、人間行動の意味と心のメカニズムに精通した心の専門家を目指します。社会福祉学科では、地域の課題解決に取り組む実学教育を充実。社会福祉に対する知識と実践力を身に付け、地域に貢献できる人材を目指します。

心理学科

- 公務員心理職
- 一般企業の営業・販売職、総合職、研究部門 など

社会福祉学科

- 公務員福祉専門職
- 医療ソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカー、メンタルヘルスソーシャルワーカー
- NPO・NGO職員、国際機関職員 など

心理学科

人と社会を多角的に理解するため、対人援助の手法やカウンセリングに関する知識、他者と協働するスキルなど、臨床現場の実務に役立つ力を磨きます。リスクマネジメントや消費者心理学を学び、ビジネスシーンでの課題解決力につなげるなど、心理学に関わる様々な分野での活躍を目指します。

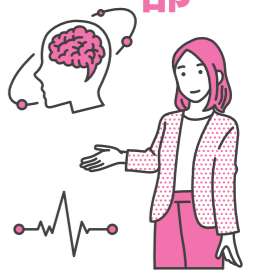
社会福祉学科

社会福祉士国家資格の全員合格、精神保健福祉士とのダブル取得を目標に福祉のプロを育成します。また、「多文化共生」をキーワードに、これまでの社会福祉＝高齢者、生活困窮者、介護といった領域にとどまらず、グローバルな視点で活躍できる人を育て、すべての人が共生できる社会の実現を目指します。

心理・社会福祉学部

心理学科 / 社会福祉学科

心理・社会福祉の現場で、よりよい社会づくりに貢献できる人材を育てる



未来のステージ

幅広い教養と豊かな人間性、リーダーシップを磨くとともに、マネジメント、マーケティング、実務、先端ビジネス、生活・健康の5フィールドで実践力を高めるカリキュラムを確立。教員や競技の指導者をはじめ、スポーツマネジメントやスポーツビジネスの分野での活躍を目指します。

- 保健体育科教員
- 地方自治体の行政職員
- スポーツチームのコーチ、マネージャー
- スポーツ関連企業、ヘルスケア企業の企画・開発
- スポーツイベントの企画・運営 など

身に付く3つの力

スポーツマネジメント力

スポーツ組織を円滑に動かし、プロスポーツチームやスポーツイベントなどの運営を行う力を身に付けます。また、財務や経営の専門知識、組織の管理方法も学び、豊かな発想力で業務に取り組める人材を育てます。

スポーツビジネス力

スポーツの魅力を発信し、様々な企業や地域と連携しながら社会を豊かにする力を養います。アスリートとコラボした商品の企画や開発など、あらゆる経験から実践力を高め、幅広い分野への対応力を身に付けます。

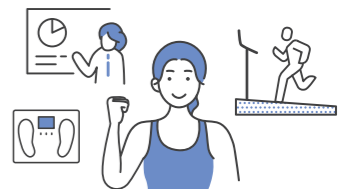
スポーツ指導・教育力

競技経験やスポーツに関する専門知識を活かし、アスリートの成長をサポートする技術や社会で人々の美容・健康づくりに貢献する力を育成。スポーツ指導の現場に不可欠な人間力やコミュニケーション力も高めます。

スポーツマネジメント学科

健康・スポーツ科学部

スポーツを通して、幅広い世代の健康と豊かな社会づくりに貢献する



健康志向の高まりや趣味・レクリエーションの多様化などを背景に、需要が高まる現代のスポーツビジネス。現場では幅広い課題に対応できる専門知識や競技活動の経験はもちろん、優れたマネジメント能力が求められます。健康スポーツ科学部に新設される本学科では、卒業後の多様な活躍の場を踏まえた実践的なプログラムで、豊かなスポーツライフをマネジメントできる女性の育成を目指します。

武庫川TOPICS

#49

学園全体のニュースを知るにはこのページをチェック! キャンパスの情報をご紹介します!!

音楽学部対象「教職課程卒業生」および「教職を目指す学生のため」のGoogle Classroomを開設



学校教育センター委員の大澤智恵准教授の発案により、音楽学部で「教職を目指す学生」および「教職課程を修めた卒業生」のためのGoogle Classroomを2021年度に開設しました。教職課程履修者や卒業生同士のコミュニティをつくる、また教員として現場で活躍する先輩の生の声を聞くなど様々な情報を共有できる場として、大きな期待が寄せられています。

教授 藤村 匡人
(大学 演奏学科、応用音楽学科)

建築と造園が一体となった原寸大作品の制作

大学院景観建築学専攻の修士課程1年生が設計演習において、植物とハニカム構造のドームが一体となったデモンストレーションガーデンを共同制作しました。9月18日から明石公園一帯で開催される「ひょうごまちなみガーデンショー in 明石」に出品予定です。



制作の様子
教授 杉浦 徳利
(大学 景観建築学科/大学院 景観建築学専攻)

2人の学生が卒業設計コンクールで入賞!

1人目は鎌田彩那さん、「せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦」で準優勝、「関西16大学合同卒業設計展 Diploma×KYOTO '22」で2位になりました。2人目は本田未来さん、「AIJ近畿支部卒業設計コンクール」で上位3作品に入選しました。ともに、建築学専攻に進学し、現在、実践的な建築設計に取り組んでいます。



建築スタジオで作品と賞状とともに
教授 田川 浩之
(大学 建築学科/大学院 建築学専攻)

薬学部で健康アロマプロジェクトがスタートします

アロマセラピーの補完医療としての可能性を科学的に学び、提携している薬局(ベガファーマ株式会社)や提携企業(株式会社MIWAIKEHATA)と商品の企画・検討・開発を進めています。近い将来には創製品の上市を目指します。



初回の実験風景です
教授 森山 賢治
(大学 薬学科)

廃校小学校が地域創生拠点としてオープン!

経営学科学部が岡山県真庭市の廃校小学校の再生プラン提案に関わり、寄贈漫画10万冊をそろえた地域創生拠点「ふるいち二川マンガ館」が2022年4月30日にオープンしました。参加学生がこだわった「小学校らしさ」を実現した駄菓子売場や黒板アートもあります。



再生した廃校小学校
教授 高橋 千枝子
(大学 経営学科)

共通教育サイト、リニューアル中!

2021年度から共通教育サイトのリニューアルが本格化しています。これまで新生入生からの質問が多かった「共通教育科目の選び方」や、昨年、全学的に導入された「データリテラシー・AIの基礎」の科目説明を詳しくしました。また、科目名からGoogleクラスコードなどが検索できるようになり、円滑にクラスルームに入れるようになっています。



共通教育サイトのトップページ
准教授 寺井 朋子
(大学 共通教育部)

大短日合同 新入生歓迎会が開催されました

4月15日、大日・短日合同での新入生歓迎会が2年ぶりに開催されました。コロナ禍での開催方法について幹事会が検討を重ね実現したものです。当日は、部活や応援団の紹介、またクラス対抗のクイズ大会も行われ、新入生にとって先輩たちとのつながりを感じる心強い企画となりました。



歓迎会の様子
准教授 野畑 理佳
(大学 日本語日本文学科/短大 日本語文化学科)

心理・社会福祉学部を開設

心理・社会福祉学科は2023年4月、新たに心理・社会福祉学部としてスタートします。新学部では、高度な心理学の知識と社会福祉の専門的な視点を発揮し、より良い社会づくりに貢献できる人材の養成を目指します。また、これまでよりもさらに、学生のキャリア支援や国家資格取得の支援に取り組んでいきます。



新学科バナーアート
教授 安藤 明人
(大学 心理・社会福祉学科/短大 心理・人間関係学科)

学生ライターが甲子園球場へ取材に!!

阪神電鉄×西宮市×武庫川女子大学で行っている産官学連携プロジェクト「甲子園スタイル」の取材で、阪神球場で行われていた肉FESにお邪魔してきました。



この事業は地域活性化を目指した取り組みで、健康・スポーツ科学科穂原(あきはら)ゼミの学生が色々な場所に行き取材を行っています。詳しくはInstagram→@koshien.style

5/20 肉FESの様子
講師 満武 華代
(大学 健康・スポーツ科学科/短大 健康・スポーツ学科)

「千鳥屋宗家」とのコラボレーション企画



藤本憲一ゼミ4年生16人が、千鳥屋宗家とコラボし、応援Instagramを開設しました。

2021年9月から、企業・商品研究を重ね「インスタ映え」による波及効果を目指し、女子大生ならではの感性で作ったオリジナル写真・動画で、同社商品を紹介していきます。

講師 榎並 直子
(大学 情報メディア学科)

英語プレゼン大会で7年連続の上位入賞達成



「福澤杯」準優勝の香川友里絵さん

数々の英語スピーチやプレゼン大会で活躍を続ける英語文化学科が、今年度、7年連続となる上位入賞を達成しました。これまでに、香港杯、青嵐杯、森田・英文毎日杯でそれぞれ全国優勝。昨年度には日本三大大会のひとつ「第45回 福澤杯」(慶應義塾大学)でも準優勝を収めました。年々磨きがかかる本学科生の英語発信力に、全国からの注目が集まります。

学科長 清水 利宏
(大学 英語文化学科/短大 英語キャリア・コミュニケーション学科)
2023年度入学生より英語文化学科は英語グローバル学科に名称変更

笑顔・元気を届ける短教コスチューム!!



3年ぶりに体育祭のコスチュームに参加しました。武庫女の伝統を守りたい! 笑顔と元気を届けたい! と2年生5人、1年生14人が集まりました。短期間でしたが、私たちが精一杯に楽しむ! という気持ちで練習と

準備をしました。4曲を3回の早着替えをしてそれぞれの個性が発揮できるように構成。当日は、緊張もしたけれど、会場からの友達の大きな応援コールで、心にスイッチが入りました。参加したこと、チャレンジしたことは大きな達成感になりました。支えられていること、目標に向かって頑張ることの大切さを改めて感じる経験となった彼女たち。会場で観ていた私を含め、たくさんの人たちが元気をもらい感動しました。

准教授 久米 裕紀子
(大学 教育学科/短大 幼児教育学科)

岩田章吾教授がデザインした「印南の廻楼」がダブル受賞!



「印南の廻楼」が「建築人賞」と「きのくに建築賞佳作」を授与されました。

この家は、岩田先生が駆け出しの頃、初めての施主となったクライアント一家が再度別荘を依頼したもので、歳月を経て再発見した、家族の思い出の場所に築かれました。メモリアル性の高い空間で、冬至の日の入りで、大海原と家全体は赤く染まります。

学科長 澤渡 千枝
(大学 生活環境学科/短大 生活造形学科)

EBN(Evidence Based Nursing)演習では実験をします!

看護学部2年生の看護援助論では、看護に基づく根拠を考える力を養うためにEBN演習があります。学生たちは1年生の基礎看護技術で学習した看護技術から独自の疑問を見出し、疑問を解決するためにグループで実験を行います。予想通りの実験結果となるグループ、予想と反した実験結果で頭を悩ませているグループがありました。



フラックライトで汚れを可視化します
助教 野野 亜矢子
(大学 看護学科)

令和4年度シンポジウム開催します！

今年度のシンポジウムは、「科学的エビデンスに基づくスポーツアスリートの最新トレーニング」をテーマとし、9月25日にZoomでのオンライン開催を予定しております。



今後、研究所HPにて情報を発信していきます。「健康・スポーツ科学」雑誌や研究員の活動報告等も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
助手 森田 彩 (健康運動科学研究所)

武庫川フェスティバル「紡ぐ・織りなす」

5月2日・3日、3年ぶりに有観客での開催を行うことができました。



常任委員会の皆さん

内容は、クラブの展示・演技発表・素人名人会・模擬店など多岐にわたり、大変盛況で多くの笑顔が見られました。企画運営は、高校3年生の常任委員会が中心となり行いました。長い時間をかけて準備をし、思いが紡がれ、形となったすてきな二日間になりました。

高校3年運営委員長 岡本 茜 (附属中学校・高等学校)

夏の花と野菜の苗を植えました！

附属保育園の2階の小さな園庭では子どもたちが植物の世話をしています。今年も朝顔やひまわり、ピーマン、枝豆、キュウリ、ナス、オクラなどの苗を3・4・5歳児が植えました。



アサガオの花で色水遊びできるかな？

毎日みんなで水やりをしているのでぐんぐん大きくなっています。収穫を迎えた野菜は、給食室で調理して、みんなで食べるのを今から楽しみにしています。

園長 登佐 直美 (附属保育園)

アメリカ分校の新しいモニュメントが完成

アメリカ分校(Mukogawa U.S. Campus)開設30周年を記念した新しいモニュメント(記念碑)が完成しました。キャンパスの美しい自然環境や歴史的建造物に調和したイメージで、近い将来、このモニュメントの前で、MUSCに留学する学生たちが笑顔で記念撮影してくれる日を心待ちにしています。



アメリカ分校の新しいモニュメント
副学長 中原 朗裕 (アメリカ分校)

「公務員試験対策講座」通年クラスがスタート！

学科や志望先は違えども、公務員試験に向けて1年間学習する仲間が教室に集い、5月から対策講座がスタートしました。初回の授業ではグループワークを実施。「これからの時代に求められる公務員の能力は何か」について話し合い、堂々と発表する様子が伺えました。今後は、試験を終えた4年生との交流会も実施予定です。



グループワーク後の発表の様子
重乃 遼子 (資格サポート窓口)

春季展・秋季展・校祖展のご案内

春季展「所蔵絵画展」開催は7/14まで。次の秋季展「粋を尽くす一近現代のきもの」は10/5～11/30まで、学術研究交流館(IR)5階ギャラリーで開催します。公江記念館(KM)1階では、9/20～10/20に「公江喜市郎の横顔 文房四宝展」を行います。



秋季展展示予定の袋帯(部分)



ミュージアムHP

詳しくはミュージアムHPで。
助教 伊永 陽子 (附属総合ミュージアム)

教員・保育士「ホームカミングデー」開催。在学生もどうぞ！

教員・保育士として働く全学科の卒業生を対象に「ホームカミングデー」を開催します。今年度は8月7日(日)午後に対面での実施を予定しています。在学生の皆さんも参加できます。卒業生のお話を伺って参考にして下さい。詳細は学校教育センターのHPでご案内しています。センター長 伊藤 博章

(学校教育センター)

フレイル予防講座in西宮北口キャンパス

地域高齢者を対象に、「運動・計測・栄養・食事内容を考える」4部構成のフレイル予防講座を開催しました。普段の食事を、用意した惣菜等から自身で選び、計測値から食事内容を考える昼食会を行いました。昼食会時に紹介した食材を組み合わせた食事は、簡単・手軽にできると、参加後、家で実際に活用されているようです。



フレイル予防講座の様子

研究員 堀木 真由美 (栄養科学研究所)

たくさんのチョウと出会って！

4・5歳児が、伊丹市の昆虫館へ園外保育に出掛けました。チョウの温室では、1,224匹のチョウが飛んでいました。子ども達の近くをヒラヒラと優雅に飛び交ったり蜜を吸ったりするたくさんのチョウを見て、思わず子どもたちの顔がほころびます。



「チョウちゃん、こんにちは」

身近な動植物と関わり、心を動かす感動体験を通して、生命の不思議さや尊さ、探究心等を養っていきたくと考えています。園長 金光 文代 (附属幼稚園)

日帰り研修スタート

今年度は、大学・短大各学科の研修が従来の宿泊から日帰り形式にプログラムを変更し、3年ぶりに無事再開しました。連日学生が来苑し、苑内に活気が戻ってきました。感染症対策に気を付けながら、野外クッキングやレクリエーション等、普段の学生生活から離れた自然豊かな環境で、のびのびと交流を深めています。



多目的広場で玉入れ合戦

原 万紀子 (丹嶺学苑研修センター)

Light It Up Blue MUKOJO! 2022 研究所棟が青くライトアップされました



満開の桜とライトアップされた研究所棟

4月2日の自閉症啓発デーから1週間、研究所棟がライトアップされました。4年目の今年は西門の満開の桜をブルーに照らしました。また、「LIUBMUKOJO」の一環として市民公開講座「不登校と子どもの睡眠障害、そしてその背景にある発達障害」をZoomと対面のハイブリッドで開催し、全国のみならず、海外、会場も含めて約120人の参加がありました。助手 高原 ひろみ (教育研究所)

美研工房「もの と わたし と」を開催しました

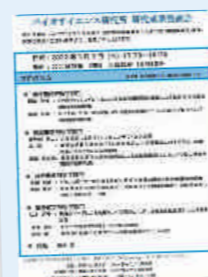
生活美学研究所では、3月16日に写真家のふなだかよ氏をお迎えして、ワークショップを行いました。参加者は、自宅から思い入れのある「もの」を持ち寄り、それを落下させる瞬間の写真を撮影し、さらに額装して作品に仕立てます。一連の作業は、「もの」と「わたし」との関係性を見つめ直す貴重な機会となりました。



約10年分の手帳が落下する瞬間をとらえる

助手 松山 聖央 (生活美学研究所)

令和3年度 公開研究成果発表会



令和4年3月3日に対面で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の第6波の感染拡大によりオンラインで開催しました。「食物栄養科学・薬学を基盤とするバイオサイエンス研究の新潮流」を統一テーマに、研究員が分担課題を発表。学外からの参加者も含め、50数人が予定時間をオーバーして活発な討論を行いました。所長 萩中 淳

公開研究成果発表会のプログラム (バイオサイエンス研究所)

浜甲健康ランチ交流会開催

浜甲子園団地にお住まいの方対象にHAMACO:LIVINGにて開催。一人暮らしの方やお友達同士で参加の方など適量で野菜がたっぷり摂れるヘルシー弁当を頂きながら、「ミニ食育講座」や「まごわやさしいクイズ」「みんなでバランス朝食を考えよう！」など和気あいあいと午後のひとときを楽しみました。



みんなで「まごわやさしいクイズ」を考える様子

事務局 田中 知里 (国際健康開発研究所)

CAREプログラム研修会

CARE(Child-Adult Relationship Enhancement)は、子どもとより良い関係を築く時に大切な養育のスキルを体験的に学ぶことができる、トラウマインフォームドな視点から生まれたペアレントトレーニングプログラムです。本学には研修会を実施できる資格を持つ教職員がいます。まずは臨床心理学専攻の修了生向けにCAREプログラムの研修会を開催することになりました。



助手 梶本 雪子 (発達臨床心理学研究所)

「オトナのための日本語塾」開講

オトナのための日本語塾

2022年4月～2023年3月 年5回開催



2021年度開催の様子

今年で8年目となる「オトナのための日本語塾」(塾長:佐竹秀雄)を開講します。この「塾」では、LC(倶楽部)会員が中心となり、一年をかけて、言葉について「聞く・話す・調べる」ことを行い、成果としてレポート集を発行します。年間5回、土曜日に2時間程度の開催です。現在、絶賛塾生募集中です！

助教 岸本 千秋 (言語文化研究所)

学友会活動の情報発信サポートに向けて

「新しい武庫女教育」の一環として、学生の主体性を育むために、入学式や体育祭などの運営だけでなく、その活動の情報発信・映像配信も学生自身が行うために最新の装置を含む設備の整備が進められています。これらの映像機器の操作には専門的な知識が求められますが、情報教育研究センターでは、学生部・総合情報システム部と連携してこれらの活動のサポートをしていきます。



公江記念講堂映写室・体育祭

次長 蓬田 健太郎・東條 弘 (情報教育研究センター)

トルコからの留学生が大学院で頑張っています！

トルコ人留学生ウルケル・イエシム・ギョルさんは、現在、大学院建築学専攻修士2年に在籍しています。建築設計演習で作品を制作・発表したり、甲子園会館の照明を実測して原寸図を作成したり、竹を使った原寸大の創作茶室を共同制作したりと、文化と言葉の壁を超えて頑張っています。その姿に日本の学生たちも大いに刺激を受けています。



甲子園会館の照明を実測する 竹ひごを組み、クレーンで吊り上げる

研究員 柳沢 和彦 (トルコ文化研究センター)



学生・生徒の活躍



日々の努力が生み出した、華々しい受賞結果をご報告

大学・短大

新体操部

- 第64回関西学生体操選手権大会(奈良4月)
団体 女子団体種目別フープ5 **1位**
- 第72回西日本学生体操選手権大会(愛知5月)
団体 種目別フープ5 **1位**
団体 種目別ボール2・リボン3 **1位**
団体 総合 **1位**

体操部

- 第64回関西学生体操選手権大会(姫路4月)
団体 種目別 段違い平行棒 **1位**
団体 種目別 平均台 **1位**
個人 種目別 段違い平行棒 **1位** 辻前 綾里
個人 種目別 平均台 **1位** 小谷 みつは
- 第72回西日本学生体操選手権大会(愛知5月)
団体 総合 **1位**

タッチフットボール部

- 東西大学王座決定戦(神戸12月)
女子団体 **1位**
最優秀選手 MVP 橋本 唯菜
- 第27回さくらボウル(東京1月)
女子団体 **1位**
最優秀選手 MVP 杉本 くるみ

野球部

- 令和4年度春季リーグ戦(5月)
1位

カヌー部

- 令和4年度全日本カヌー選手権大会(京都5月)
個人 U23 WC-1(9,000m) **1位** 本田 愛実
個人 U23 WC-1(9,000m) **2位** 竹崎 杏
個人 U23 WC-1(9,000m) **3位** 深尾 美萌彬
個人 U23 WK-1(9,000m) **1位** 栗原 萌衣
個人 U23 WK-1(9,000m) **2位** 吉田 奈未
個人 U23 WK-1(9,000m) **3位** 樋渡 千歩
個人 シニア WK-2(9,000m) **1位** 樋渡 千歩 吉田 奈未
個人 シニア WK-2(9,000m) **2位** 熊岡 亜弥 栗原 萌衣
個人 シニア WK-2(9,000m) **3位** 大島 沙耶佳 富澤 侑彩
- 2022 ICF CANOE SPRINT WORLD CUP POZNAN(ポーランド5月)
個人 女子カナディアン **出場** 小林 実央
個人 女子カヤック **出場** 福田 りん

競技スキー部

- 第22回ばんげいモーグル競技会 A級(札幌1月)
個人 フリースタイルスキー競技
モーグル種目 **2位** 藤木 日菜

陸上競技部

- 第105回日本陸上競技選手権大会・室内競技(大阪3月)
個人 三段跳 **3位** 船田 茜理
 - 2022日本学生陸上競技個人選手権大会(神奈川4月)
個人 三段跳 **2位** 船田 茜理
 - 第99回関西学生陸上競技対校選手権大会(京都5月)
個人 三段跳 **1位** 齋藤 遥
- ### テコンドー同好会
- 第15回全日本テコンドープレミアム選手権大会(滋賀1月)
個人 U-30女子 **1位** 丹羽 結子
個人 フリースタイルO-17 **1位** 丹羽 結子

個人

- National Double Dutch League Holiday Classic 2021(アメリカ12月)
Advance Fusion **1位** 谷口 亜由子
- 第15回バーテン音楽コンクール全国大会(12月)
自由曲コース 大学・院生Aの部 **3位** 西田 咲桜

中学・高校

柔道部

- 令和4年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会兵庫県大会(兵庫5月)
個人 70kg級 **2位** 高校2年/長崎 ひあり
- 第66回兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技大会(兵庫6月)
団体 **優勝**
高校1年/松井 芽央 高校2年/長崎 ひあり
高校3年/名田 心々菜、宮本 楓音
個人 48kg級 **3位** 高校3年/吉岡 奈穂
個人 57kg級 **3位** 高校1年/松井 芽央
個人 63kg級 **2位** 高校3年/名田 心々菜
個人 70kg級 **優勝** 高校2年/長崎 ひあり

水泳部

- 第30回近畿私立中学高等学校水泳競技大会(大阪5月)
4×100m メドレーリレー **優勝**
中学3年/平井 那歩
中学2年/山川 真歩、國森 好奏、江口 陽菜
4×100m フリーリレー **2位**
中学3年/平井 那歩
中学2年/山川 真歩、國森 好奏、江口 陽菜

- 個人 200m バタフライ **2位**
中学2年/國森 好奏
- 個人 200m 平泳ぎ **2位**
中学2年/山川 真歩
- 個人 50m 自由形 **3位**
中学3年/平井 那歩

陸上部

- 兵庫県総合体育大会陸上競技大会(兵庫5月)
個人 やり投げ **7位** 高校3年/岡本 茜

カヌー部

- 第76回兵庫県民体育大会兼第77回国民体育大会カヌー競技スプリント県予選大会(兵庫5月)
個人 少年女子カヤックシングル
優勝 高校1年/岩井 瑞希
2位 中学3年/杉本 深寛
少年女子カヤックペア
優勝 高校1年/岩井 瑞希、庄治 伶
成年女子カナディアンシングル
2位 高校1年/奥見 陽
中2以下フリーカヤック女子シングル
優勝 中学2年/足高 アンナベレン 應
- 第66回兵庫県高等学校総合体育大会令和4年度カヌー競技の部
個人 カヤック女子シングル
優勝 MVP 高校1年/岩井 瑞希
カヤック女子ペア
優勝 高校1年/岩井 瑞希、庄治 伶
カナディアン女子シングル
優勝 MVP 高校1年/奥見 陽

器械体操部

- 令和4年度高等学校体操競技選手権大会(兵庫5月)
団体総合 **2位**
個人 高校2年/佐々木 美和
個人総合**3位**、跳馬**2位**、段違い平行棒**4位**、平均台**4位**、ゆか**1位**

新体操部

- 令和4年度兵庫県高等学校総合体育大会新体操選手権大会
団体 **3位**

創作ダンス部

- 令和4年度第66回兵庫県高等学校総合体育大会第22回兵庫県高等学校ダンス大会(兵庫6月)
優勝

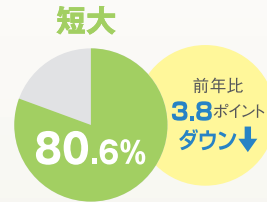
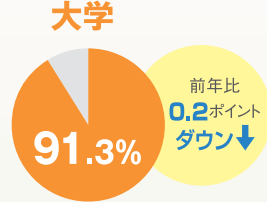
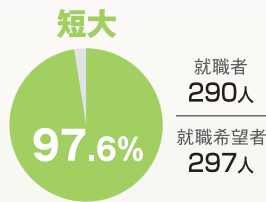
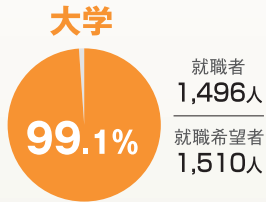
スペースの都合上、代表的な成績を抜粋しています。記載されている学年は受賞時のものです。

大学・短大運動部の成績は健康・スポーツ科学科公式サイト内のブログ「MWU-Athletics.com」、中高生徒の活躍は毎月発行される「中高だより」にも詳しく掲載されています。

武庫川 就職 掲示板



2021年度 卒業生の就職率



就職決定率

※就職を希望している人のうち、どれだけの人が就職したか

実質就職率

※進学者を除く全卒業生のうち、どれだけの人が就職したか

生活環境学部

学部卒業生 492人
就職者 431人
進学者 41人

- 1 日清医療食品 8人
- 2 エームサービスジャパン 5人
- 3 スギ薬局 4人
- 3 阪急オアシス 4人
- 3 積水ハウスリフォーム 4人
- 3 大阪市(行政) 4人
- 3 医誠会 4人
- 3 ココカラファイン 4人
- 9 積水ハウス 3人
- 9 マルタマフーズ 3人

健康・スポーツ科学部

学部卒業生 165人
就職者 143人
進学者 5人

- 1 兵庫県(教員) 6人
- 2 大阪府(教員) 3人
- 2 武庫川学院 3人
- 2 スターバックスコーヒージャパン 3人
- 5 栃木県スポーツ協会 2人
- 5 香川県(教員) 2人
- 5 高知県(教員) 2人
- 5 滋賀県(教員) 2人
- 5 姫路市(行政) 2人
- 5 岡山県(教員) 2人

文学部

学部卒業生 724人
就職者 627人
進学者 28人

- 1 兵庫県(教員) 32人
- 2 大阪府(教員) 16人
- 3 大阪市(教員) 12人
- 4 横浜市(教員) 11人
- 5 大阪市社会福祉協議会 7人
- 5 神戸市(保育士) 7人
- 7 神戸市(教員) 6人
- 7 大阪市(行政) 6人
- 9 大阪府(行政) 5人
- 10 加古川市(教員) 4人

学部別今春卒業生の就職先

2021年度の卒業生の中で、就職者の多かった企業を学部別に調査しました。コロナ禍の就職活動の中でも、上位には教員や人気企業が並び、学生の奮闘が結果に表れました。
※学部卒業生の就職先上位10社(官公庁含む)と就職者数(教員養成系は教員の内訳)
※進学者は、大学院、専攻科、大学への入学者

短期大学部

卒業生 570人
就職者 290人
進学者 210人

- 1 大阪市(保育士) 5人
- 2 国分グループ本社 4人
- 2 LEOC 4人
- 4 みなと学園 3人
- 4 マーキュリー 3人
- 4 東洋紡 3人
- 7 エームサービスジャパン 2人
- 7 パル 2人
- 7 ノーケン 2人
- 7 大同信用組合 2人

看護学部

学部卒業生 88人
就職者 80人
進学者 7人

- 1 兵庫医科大学病院 10人
- 2 神戸市民病院機構 7人
- 3 兵庫県立尼崎総合医療センター 6人
- 4 淀川キリスト教病院 4人
- 5 神戸大学医学部附属病院 3人
- 5 近畿大学病院 3人
- 5 関西医科大学病院 3人
- 5 国立循環器病研究センター 3人
- 9 大阪公立大学医学部附属病院 2人
- 9 兵庫県立こども病院 2人

薬学部

学部卒業生 225人
就職者 191人
進学者 5人

- 1 医誠会 3人
- 2 関西医科大学附属病院 2人
- 2 徳洲会 2人
- 1 アインホールディングス 28人
- 2 ココカラファインヘルスケア 14人
- 3 日本調剤 8人
- 1 兵庫県 6人
- 2 佐藤薬品工業 3人
- 3 防衛省 2人
- 3 大阪市(行政) 2人

音楽学部

学部卒業生 37人
就職者 24人
進学者 6人

- 1 神戸市(教員) 2人
- 2 日本放送協会 1人
- 2 兵庫県(教員) 1人
- 2 愛知県(教員) 1人
- 2 横浜市(教員) 1人
- 2 ヤマハ音楽振興会 1人
- 2 やぎ楽器 1人
- 2 土田音楽教室 1人
- 2 兵庫県商工会連合会 1人
- 2 和香会 1人



スペイン語を学んで南米の人々と関わり、ボランティアから市民活動へ発展させながら外国人、日系人の生活を支援。地域社会を研究の場に、誰も排除されない多文化共生社会の実現を目指しています。



PROFILE

吉富 志津代 先生

文学部 心理・社会福祉学科 教授
国際センター センター長

京都外国語大学イスパニア語学科(現スペイン語学科)卒業。在神戸アルゼンチン総領事館勤務などを経て、1999年にNPO法人多言語センターFACILを設立。現在は理事長を務める。大阪大学特任准教授、名古屋外国語大学教授を歴任し、2022年4月より現職。研究室のテーマは「多文化ソーシャルワーク」。神戸大学修士(国際学)、京都大学博士(人間・環境学)。

震災を機にNPOを設立 外国人の支援を始める

語学が好きでインカ文明に興味があったため、外国語大学でスペイン語を学び、卒業後はアルゼンチンやボリビアの領事館で秘書を務めました。当時は1990年に入国管理法が改正され、日系中南米人の受け入れが一気に進んだ時期。領事館は日系人の駆け込み寺のようでした。

そこへ阪神・淡路大震災が起きます。日本語が分からない外国人や日系人は情報を受け取ることができません。直前に領事館を退職していたため、神戸市長田区でボランティアを始めましたが、とても追いつかない。何とかしなく

てはとNGO外国人救援ネットワーク、多文化・多言語のコミュニティ放送局FMわいわいの設立メンバーに加わりました。1999年には外国語の通訳・翻訳を担うNPO法人多言語センターFACILを立ち上げました。同じ時期、外国にルーツのある子どもの支援活動を行う市民団体を設立。2つの団体の言葉と教育を支えるソーシャルビジネスを始めました。

大学院に進学して研究に取り組む組んだのはその後のことです。現場経験をさらに理論武装したいと必死で勉強し、地域社会の在り外国人をテーマに博士号を取得。地域での活動を継続しながら大学や大学院で教鞭を執り、



多様な人々が安心して暮らせる社会の実現を目指してきました。研究の場は常に地域社会です。

グローバルな視点の福祉へ
現実社会と学生をつなぐ

2023年に開設される心理・社会福祉学部社会福祉学科では、多文化社会やNGO・NPO、ソーシャルビジネスマネジメントを学ぶ授業を担当する予定です。社会福祉と多文化共生を結びつけた学部学科は全国でもおそらく初めて。フィールドワークを充実させ、現実社会と学生をどう近づけないでいきたいです。今年4月から文学部で教えていますが、武庫女の学生の真面目さとまっすぐさには本当に感動します。今後、国際センターでも学生の意識の国際化を進めます。

本学もウクライナ避難民支援募金を始めていますが、FACILでも支援活動を始めています。日本での関心も高いので、これを機に外国人を取り巻く環境や制度が変わることを願っています。さまざまな立場に置かれる外国人を見ることで社会全体の課題も見えてきます。そのため学びが詰まった新学部で、多文化社会で活躍できる人を育てる。それが私の役割と考えています。



神戸市の依頼で多言語に翻訳したごみ出しパンフレットを作成しました。日本語が分からなければ、日々のごみ出しも簡単ではありません。暮らしに密着した外国人支援が大切です。



南米ボリビアでの調査研究も長く続いています。戦後、沖縄から多数の移民が渡った「オキナワ村」には今も日系人が多く住み、村内の学校では日本の文化や言葉を学びます。それでも彼らが日本に帰国すると、苦労が多いのが現状です。



地域の外国人が不安なく医療機関を受診できるよう、FACILでは多言語の医療通訳に取り組んでいます。地域医療と外国人患者をテーマにセミナーも開催してきました。

武庫女の
テレビ放映中

武庫川女子大学の むこじょTV

毎月第1月曜
午後5:15～

「武庫川女子大学のむこじょTV」、朝日放送テレビで放送中

武庫川女子大学のミニ番組風長尺インフォーマーシャル「武庫川女子大学のむこじょTV」が朝日放送テレビで4月からスタートしました。毎回、学生や教職員が案内人となって進行中のプロジェクトや活動を紹介し、武庫川女子大学の教育・研究の魅力を発信しています。

教職学協働で 武庫女をアピール

第1回は建築学部の学び舎である甲子園会館で進む大規模修復プロジェクトにフォーカスしました。ヘルメット姿で歴史的建造物の継承に奮闘する女性たちの姿は「女子大学」の旧来のイメージを吹き飛ばし、印象的なスタートとなりました。第2回は新たに始まった経営学部のゼミ活動から、中小企業を研究テーマとする山下ゼミをクローズアップ。製造業の現場を学生たちが見学する場面では、経営者である本学卒業生も登場しました。第3回は薬学部としては全国でも珍しい化粧品科学研究室で研究に携わる大学院生が案内人。皮膚の水分量や毛髪のダメージを調べる研究の場面がリアルに描かれました。放送は2023年3月まで計10回の予定です。

番組動画は大学公式ホームページの「むこじょTV特設サイト」でも見ることが出来ます。テレビ放送は関西エリアのみですが、毎月中旬、朝日新聞一面(全国版)の天声人語欄横に「むこじょTV」の広告を掲載しており、全国どこでもQRコード読み込みで番組を視聴可能。平仮名の「むこじょ」には「武庫川女子大学」を全国の受験生やその父母等に認知してほしいという思いを込めました。ぜひ、ご覧ください。

撮影順調です! #1～#4の撮影・番組シーンなど



#2 経営学科



#4 情報メディア学科



ナレーションは放送部が担当

「むこじょTV」ラインナップ

朝日放送テレビ(6チャンネル)で、
毎月第1月曜午後5時15分ごろ放送

- #1 (4月4日放送)「甲子園会館を学び舎に」
建築学科 助手 船戸 理磨子さん
- #2 (5月2日放送)「ものづくり企業に学ぶ」
経営学科 講師 山下 紗矢佳 先生
- #3 (6月6日放送)「化粧品でより美しく、健康に」
大学院薬学研究科修士課程2年 山本 明日香さん
- #4 (7月4日放送)「データで待ち行列を解消」
情報メディア学科4年 安本 楓さん
- (8月はお休み)
- #5 (9月5日放送予定)「丹波の木育プロジェクト(仮題)」
生活環境学科4年 真弓 千優さん

#10まで放送予定です。

QRコード読み込みで
すぐに見られます!



今後、クラブ活動や産学連携の
取り組みなどを予定しています。
大学HPからもご覧いただけます!




#1 建築学科



#3 健康生命薬科学科


建築



中江 哲 なかえ てつ

- ① 教授
- ② 建築設計、建築計画学
- ③ 鹿島建設

応用音楽



松園 洋二 まつぞの ようじ

- ① 教授
- ② 作曲、音楽理論、ソルフェージュ
- ③ 平安女学院大学

応用音楽



坂口 裕子 さかくち ゆうこ

- ① 講師
- ② 声楽
- ③ 武庫川女子大学音楽学部非常勤講師、大阪音楽大学非常勤講師

看護



浅野 浩子 あさの ひろこ

- ① 准教授
- ② 母性看護学
- ③ 山梨大学

Hello! New Face
新任教員 紹介

【掲載内容】
① 資格
② 専門（中高は担当）
③ 以前の勤務先

英語キャリア



ウィックストラム 由有夏 ウィックストラム ゆうか

- ① 准教授
- ② 社会学、エスニシティ論、異文化コミュニケーション、英語教育
- ③ 岡山大学

看護



黄 智暎 ふあん ちよん

- ① 講師
- ② 精神看護学・社会医学
- ③ 新卒（京都大学大学院医学研究科 医学専攻博士課程 研究指導認定退学）

看護



館林 麻有 たてばやし まゆ

- ① 助教（臨床）
- ② 看護学
- ③ JCHO 大阪病院

看護



野寄 亜矢子 のより あやこ

- ① 助教（臨床）
- ② 基礎看護学分野
- ③ 神戸市看護大学 療養生活看護学分野

看護



山中 晶子 やまなか あきこ

- ① 助教（臨床）
- ② 老年看護学分野
- ③ 宝塚大学看護学部 非常勤講師（成人看護学）

英文



加藤 丈太郎 かとう じょうたろう

- ① 講師
- ② 移民研究、国際労働移動、国際社会学
- ③ 早稲田大学 国際学術院アジア太平洋研究センター

心福



吉富 志津代 よしとみ しづよ

- ① 教授
- ② 多文化共生、移民政策、ソーシャルビジネス
- ③ 名古屋外国語大学

心福



茂本 由紀 しげもと ゆき

- ① 講師
- ② 臨床心理学
- ③ 京都文教大学 臨床心理学部


心福



清水 由香 しみず ゆか

- ① 講師
- ② 地域精神保健
- ③ 大阪市立大学大学院生活科学研究科


教育研究所



森脇 健夫 もりわき たけお

- ① 教授
- ② 教育実践学
- ③ 三重大学

学校教育センター



濱崎 伸樹 はまさき のぶき

- ① 特任教授
- ② 学校教育
- ③ 茨木市立山手台小学校

学校教育センター



大和 一哉 やまと かずや

- ① 特任教授
- ② 小学校教育 社会科教育
- ③ 西宮市立北夙川小学校

学校教育センター



大山 正博 おおやま まさひろ

- ① 助教
- ② 教科教育学（社会科）、教育方法学、ゲーミング・シミュレーション
- ③ 新卒（神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程後期課程修了）

心福



野上 恵美 のがみ えみ

- ① 講師
- ② 文化人類学、在日ベトナム人研究
- ③ 神戸大学


幼児教育



塚田 みちる つかだ みちる

- ① 教授
- ② 発達心理学、保育の心理学
- ③ 神戸女子短期大学幼児教育学科

教育



中植 正剛 なかうえ まさたか

- ① 准教授
- ② 情報教育、教育学
- ③ 神戸親和女子大学


教育



村上 加代子 むらかみ かよこ

- ① 准教授
- ② 英語教育、英語指導法、ディスレクシア、学習障害、読み書き指導
- ③ 甲南女子大学人間科学部総合こども学科

中高



世良田 重人 せらだ しげと

- ① 校長
- ② 国語
- ③ 兵庫県立神戸高等学校

中高



山村 修平 やまむら しゅうへい

- ① 教諭
- ② 数学・情報
- ③ 県立西宮北高等学校

中高



木村 玲子 きむら れいこ

- ① 講師
- ② 英語
- ③ 枚方市 JTE

中高



藤村 純子 ふじむら じゅんこ

- ① 講師
- ② 英語
- ③ 尼崎市立尼崎双星高等学校

健スポ



工藤 康宏 くどう やすひろ

- ① 教授
- ② スポーツマネジメント、スポーツツーリズム
- ③ 順天堂大学 スポーツ健康科学部


健スポ



宇野 博武 うの ひろむ

- ① 講師
- ② 体育・スポーツ経営学
- ③ 高松大学 経営学部 経営学科

情報



大野 ゆう子 おおの ゆうこ

- ① 教授
- ② 数理保健学
- ③ 大阪大学大学院基礎工学研究科

情報



新田 直子 にった なおこ

- ① 教授
- ② マルチメディアコンテンツ解析
- ③ 大阪大学


中高



松浦 紗里 まつうら さり

- ① 講師
- ② 家庭
- ③ 附属中・高（非常勤）、KCJ GROUP 株式会社

中高



宮武 浩子 みやたけ ひろこ

- ① 講師
- ② 国語
- ③ 西宮市立苦楽園中学校

中高



山田 美奈 やまだ みな

- ① 講師
- ② 英語
- ③ 大阪学芸高等学校

保育園



福永 宏美 ふくなが ひろみ

- ① 保育士
- ③ 関西労災病院に勤務後、平成 27 年に附属保育園の看護師として着任しました。

情報



中野 邦彦 なかの くにひこ

- ① 准教授
- ② 社会情報学
- ③ 島根大学医学系研究科

食生活



堀木 真由美 ほりき まゆみ

- ① 准教授
- ② 臨床医学
- ③ 民間の総合病院

食物



馬場 正美 ばば まさみ

- ① 講師
- ② 給食経営管理、高齢者栄養管理
- ③ 医療法人 財団善常会（病院 老健 配食サービス事業）

食創造



本田 智巳 ほんだ ともみ

- ① 講師
- ② 調理学
- ③ 立命館大学食マネジメント学部



5月14日・15日 第58回武庫川女子大学 体育祭「Get over it—限界の向こう側—」

帰ってきた伝統の体育祭

新型コロナウイルスの影響で一昨年は中止、昨年はオンライン開催となった体育祭がついに帰ってきました！2022年5月、対面とオンラインのハイブリッド型で開催された2日間は、笑顔と感動にあふれました。

3年ぶりの対面再開
熱気あふれるステージに

58回目となる体育祭は、「Get over it—限界の向こう側—」をスローガンに2022年5月14、15日の2日間にわたって開催されました。学生が組織する学生会「体育祭実行委員会」が主催。1965年から続く伝統行事ですが、観客を入れた開催は3年ぶりとなりました。

初日は、エアロビクスダンス部、ダンス部、バトン・チアリーディング部による部活動発表を皮切りに、健康・スポーツ科学科、短期大学の健康・スポーツ学科、幼児教育学科の学生によるダンス発表「コスチューム」がステージを華やかに盛り上げました。



4月に始まった応援合戦の練習。時間が限られる中、気持ちを一つに完成を目指しました



間もなく本番。応援合戦の出演者と指導役の「リーダーズ」が集合し、気合いを入れます

伝統の応援合戦を後輩へ
渾身の演技で思いをつなぐ

2日目は、体育祭名物の応援合戦がメインイベントです。本来は学科ごとに振り付けや衣装の早替えを競う演目ですが、今回は食物栄養学科・食創造科学科の応援団「大食団」1グループのみ。合戦ではなく、伝統を継承するためのお手本として演技を披露しました。公江記念講堂のステージには同学科の1〜3年生 43人が登場。黒服に白塗りの顔で一糸乱れぬ動きを見せると、会場からは盛大な拍手がわき起こりました。

後輩の演技を見守った応援団長の田中友里子さんは、「見事にそろって感動しました。」



応援合戦を終えて。お互いの健闘を称えました



「大食団」の演技。全員の気持ちがそろいました



応援合戦の指導役「リーダーズ」を務めた食物栄養学科の4年生。中央が応援団長の田中友里子さん

した。踊り切ってくれてうれしい」と喜びを語りました。体育祭はこのほか、お楽しみ抽選会や、オンラインによる部活動対抗チャレンジ動画、エクササイズイベントなどが行われ、盛況のうちに終了。来年の対面の完全実施を誓って幕を閉じました。



部活動発表後のインタビュー。すてきな笑顔が輝きます



史上初のハイブリッド型体育祭を企画・運営した体育祭実行委員会の皆さん。役割を分担して本番に臨みました



デジタル版のみ制作した今年度のパンフレット



キャンパスににぎわい
対面授業が中心に

コロナ禍とともに始まった遠隔授業は現在も一部で継続していますが、実習科目を中心に多くの授業が対面形式に移行。活動制限も緩和され、キャンパスは多くの学生でにぎわっています。今年度後期からは、共通教育科目を除くすべての科目で対面授業を実施する予定です。



感染症対策やオンラインと対面両方のスケジュール調整が大変でしたが、伝統を継承することができてうれしいです。来年はより多くの「応援合戦」の参加を願っています！



体育祭実行委員長
池垣実紀さん
心理・社会福祉学科3年

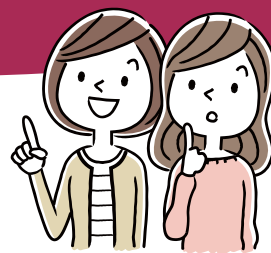


体育祭実行委員会
ドキュメンタリー動画
(YouTubeへのリンク)

重要なお知らせ

授業料の口座振替(引き落とし)を導入します

利便性向上 感染症対策



武庫川女子大学・同短期大学部では、手続の利便性向上と新型コロナウイルス感染症対策から、授業料等学費の納入について、令和4年度後期より口座振替(引き落とし)となりますので、よろしくお願いたします。なお、口座振替に係る手数料は本学が負担します。

振替口座の登録期間 2022年9月1日～30日 (予定)

振替指定日 2022年10月28日(金) 当日一回のみ。再振替はありません。

- ※ 授業料の減免、延納申請者を含むすべての在學生(大・短・院・専攻科正規生)は口座登録の手続が必要です。
- ※ 期日までに学費準備が困難なときは、学費延納手続により指定日の引き落としを停止し、12月上旬まで納付期限を猶予します。延納手続なく、残高不足または口座未登録により指定日に引き落としできない場合は「未納者」として督促対象となり、延滞金及び遅延損害金が発生しますので注意してください。
- ※ 詳しいご案内は、8月ごろ大学ホームページに掲載予定です。

武庫川学院経理部

2022年度オープンキャンパス等日程

大学
短大

オープンキャンパス2022(事前予約制)

8/11(木・祝), 12(金) • 9/25(日)

●学科企画プログラム ●体験授業 ●入試説明会 ●キャンパスツアー ●各種相談コーナー ●学食体験 など



受験生サイトはこちら

入試相談会

10/2(日) 10:00~16:00
中央キャンパス

* その他、全国各地で相談会を実施(詳細は「入試案内2023」参照)

附属中学
高校

2022年 附属中学校・高等学校オープンスクール・入試説明会

中学生
対象

8/28(日) 個別相談会
9/4(日) 高校入試説明会 個別相談会
9/17(土) オープンスクール(授業・学校見学)
10/8(土) 個別相談会(体育大会参観)
10/23(日) 高校入試説明会 個別相談会
11/13(日) 個別相談会
12/10(土) 高校入試募集要項説明会 個別相談会

小学生
対象

8/28(日) 募集要項説明会・個別相談会
9/4(日) オープンスクール(授業・学校見学) 中学入試説明会
9/17(土) 個別相談会(体育大会参観)
10/8(土) 個別相談会
10/23(日) 個別相談会
11/6(土) プレテスト入試説明会
11/13(日) 個別相談会
11/25(金)~27(日) プレテストアドバイス会
12/10(土) 中学入試募集要項説明会 個別相談会

※日程および内容は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご確認ください。

本学のURL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>



広報室 twitter
<https://twitter.com/MWULavy>



広報室 Instagram <Mukogress>
<https://www.instagram.com/mwu.mukogress/>

QRコードの読み取り機能がある携帯またはスマートフォンをお持ちの方は、それぞれのQRコードをご利用ください。

一生を描ききる女性力を。

MUKOJO
ACTION

2019-2039